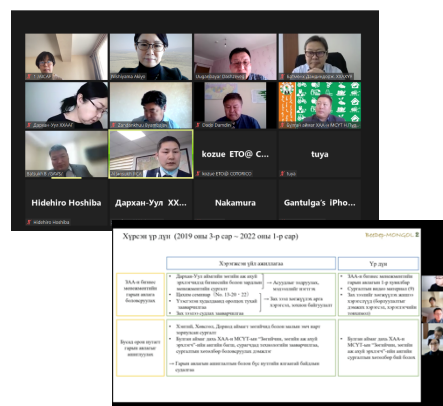




## 第3回アドバイザーグループ会合を開催しました

2月23日に、BeeDepの第3回アドバイザーグループ会合をオンラインで開催しました。アドバイザーグループは、カウンターパートであるモンゴル食料農業軽工業省とともに運営しており、関係省庁や研究機関、NGOのメンバーで構成されています。

プロジェクトはコロナ禍の影響を受け、終了時期を今年12月まで1年延長して活動を継続しています。今回の会合では、活動の進捗状況を共有するとともに、プロジェクトの成果品となる養蜂振興のための手引書を、事業終了後も持続的かつ効果的に活用していく方法について協議を行いました。手引書の活用については、アドバイザーグループのメンバー組織である農業軽工業研究開発センター（RDセンター）が研修実施機関となり、トレーナーを設置・育成していくことで合意が得られました。プロジェクトとしても、残りの活動期間でトレーナーの育成に力を入れています。



## 養蜂家・獣医向けの品質管理セミナーを実施

3月9日から13日にかけて、養蜂家と獣医を対象としたハチミツの品質管理セミナーを実施しました。

モンゴルのハチミツは、2020年に獣医庁から発令された「養蜂業務のための獣医ガイドライン」に沿って養蜂家が生産工程管理を行い、獣医によるチェックを受けてCertificateが与えられる仕組みになっています。一方、JICAの農牧業バリューチェーンマスタープランプロジェクト（MONMAP-AVC）では、ハチミツのトレーサビリティを確保するためのシステムを構築し、3月から実証を兼ねた運用が始まりました。今回のセミナーはMONMAPとRDセンターとの共催で実施し、獣医ガイドラインとトレーサビリティシステムの運用方法や、獣医に必要な養蜂の基礎知識について、専門家による講義を行いました。



ダルハンオール県農業局で行った獣医向けセミナー

## 春の飼育とマーケティングのセミナーを開催

3月下旬は蜂群が越冬庫から出て、養蜂が始まるシーズンです。巣枠や給餌の管理が非常に重要です。この時期の飼育が採蜜開始時期と生産性を左右し、どのような花のハチミツを商品化できるかにも影響します。

3月22日から24日にかけて、ダルハンオール県の養蜂場を回って、飼育状況を確認し、技術指導を行うとともに、3月26日と27日に、春の飼育技術とハチミツのマーケティングに関するセミナーを開催しました。



プロジェクトFacebook :

[www.facebook.com/BeeDep-MONGOL-2-107843977265085/?modal=admin\\_todo\\_tour](https://www.facebook.com/BeeDep-MONGOL-2-107843977265085/?modal=admin_todo_tour)

オンラインセミナー配信中！

